

1. 事業の位置付け

事務事業名	生活道路整備事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
予算科目	01-080203-020000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
道路整備により、生活環境の安全性・利便性の向上を図り、市民が快適に暮らしています。		車両のすれ違いや歩行者の安全性を確保するため、道路の拡幅や歩道・隅切りの整備など道路を改良します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	年間整備延長						単位	m
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			800	800	800			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	3箇年の道路整備進捗率（計画総延長2,400m）						単位	%
	説明・算定式	H19年度：道路整備33%、H20年度：道路整備34%、H21年度：道路整備33%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			33	67	100			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
徳延6号線、土屋57号線、大神85号線、長持56号線、横内15号線、四之宮5号線、土屋69号線を整備し、南金目65号線の局部改修を行うことにより、生活環境の安全性・利便性の向上を図った。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	行政が実施主体となり、市民ニーズに対応するため、道路改良を行う。生活道路を整備することで、快適な生活環境が図れることから必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	生活道路を拡幅することにより、交通の利便性を図り生活環境の有効性を高めることが必要。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民生活に欠かせない道路整備であり、安全で快適な生活環境の確保が必要である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	道路整備のコスト削減に取り組む。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		地域住民からの整備要望箇所であり、地域の方々の協力を得て事業を進めるが、整備計画については優先順位を定め対応する。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				用地買収・道路整備	用地買収・道路整備	用地買収・道路整備		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	171,792	140,000	176,320	0	0
事業費 (A)		0	0	171,792	140,000	176,320	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	104.96				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	2.65	2.90	2.90	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	22,237	24,334	24,334	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	194,029	164,334	200,654	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 生活道路である一般市道の整備については、毎年自治会から多くの整備要望があり、整備の優先順位を定め、計画的に事業を進める。	
平成21年度の実行方針	
整備要望も多く用地買収も伴うことから、継続事業を優先し地区の利便性や危険箇所等で緊急性を要する路線を先行し、整備を進める。	
課長コメント	市民の生活環境に直接関連する事業であり、積極的な道路整備を行うことにより、地域住民の住環境の向上が期待できる。